

2008年(平成20年)10月20日 月曜日

愛知電線

### 太陽光発電でNEDOと共同研究

# 新型パネルの実用性検証



電線メーカーの愛知電線(本社名古屋熱田区八番二ノ一七ノ九、前田将行社長、電話052・661・3891)は、生産活動で消費する電力の一部を太陽光発電でまかなう事業に着手する。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との共同研究として、新型パネルの発電状況を検証する。十一月に工場への設置工事を始め、運用は来年三月からの見込み。環境への意識を社内で高めるとともに、地域貢献に取り組んでいく考え。

## 環境意識浸透狙う

### 将来は災害時活用も 来年3月から開始

共同研究事業は、太を通過しなければならぬ太陽光発電システムに使用を申請した新型パネルの検証を目的としている。本社工場の屋根に四百六十枚のパネルを設置し、発電状況のデータを定期的にNEDOへ報告する。共同研究に参画するには、NEDOの審査

太陽光発電用の新型パネルを屋根に取り付ける本社工場

共同研究に参画するには、NEDOの審査

太陽光発電用の新型パネルを屋根に取り付ける本社工場

業では、トップクラスだという。年末には試運転に取りかかる。本格的な運用は三月からで、薄膜

共同研究事業は、太を通過しなければならぬ太陽光発電システムに使用を申請した新型パネルの検証を目的としている。本社工場の屋根に四百六十枚のパネルを設置し、発電状況のデータを定期的にNEDOへ報告する。共同研究に参画するには、NEDOの審査

太陽光発電用の新型パネルを屋根に取り付ける本社工場

のシリコンで生産さほどだが、全社的に環境保全への意識を浸透が見込める新型パネルの発電状況の検証を平成二十四年度まで続ける。前田社長は「蓄電して災害時には周辺地域に供給できるようなシステムにまで発展させたい」としている。

共同研究に参画するには、NEDOの審査

太陽光発電用の新型パネルを屋根に取り付ける本社工場

共同研究に参画するには、NEDOの審査

太陽光発電用の新型パネルを屋根に取り付ける本社工場